



瓊浦高等学校
学校通信
第 92 号

令和2年4月28日発行
電話 095-826-1261

瓊浦窓の 「挑戦は続く～100周年に向かって～」

校長 渡川 正人

今年度から本校にお世話になります校長の渡川正人（わたりかわまさと）と申します。3月に県立高校を定年退職し年齢は60歳、教科は数学です。中学から大学まで卓球に打ち込み、教員になってからも顧問として指導をしていました。若い頃は駅伝もやっていました。スポーツはどの競技も大好きで、これまで勤務していた学校の生徒からたくさんの感動をもらいましたし、本校でも多くの部の試合を応援することを楽しみにしています。もちろん文化部の活動も大変楽しみにしています。

3月に私が瓊浦高校に勤務することを聞いた人の多くから、いま生徒の活躍がすごいですね、テレビや新聞で報道されることが多いですね、学校が元気ですね、などのコメントをいただきました。私の印象と全く同じでした。

本校は、3つの学科それぞれの特色ある授業や行事、そしてボランティア活動を通しての地域貢献など素晴らしい活動がなされています。そして、何ととっても運動部・文化部の活躍が見事です。中でも運動部では昨年度の高校総体では4本の優勝旗獲得を含めて多くの上位入賞を果たすとともに、日本一の栄冠を勝ち取った部、日本一まであと一步という全国トップレベルの部もあり、まさに活気溢れる状況です。そして、職員と生徒の皆さんが一体となって頑張っている、まさに「瓊浦ファミリー」として邁進しています。生徒の皆さんには、何事にも高い目標を掲げ、自らの可能性に挑戦する高校生活を送ることで、「原石」である自分を磨き続けてくれることを心から願っています。

4月就任以来、校内での生徒の皆さんの爽やかで元気のよい挨拶、先生方の情熱、熱のこもった授業、部活動の懸命な練習の様子などに接し、瓊浦高校の充実度、パワーを強く実感しました。そしてそういう瓊浦高校で勤務できることを心から嬉しく思っています。2025年の創立100周年に向け、同窓会、保護者、地域の皆様のご支援を賜りなが

ら、スローガン「挑戦は続く～100周年に向かって～」のもと、生徒・職員一体となって伝統と実績を誇る瓊浦高校がますます進化・発展するよう頑張っていきたいと思えます。

そして校訓「誠実・和・勤勉」のもと、お子様一人一人にしっかりと目を配り、よりよき成長、能力の伸長、希望の進路実現に教職員一同、全力で取り組んでまいりますので、本校の教育活動に対し、ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

入学式

令和2年度入学式が、4月8日（水）に挙行されました。新型

コロナウイルスの感染拡大防止策として、今年度は在校生が出席しないなかでの式となりました。この4月から、普通科126名、情報ビジネス科42名、機械科107名、計275名が、新たに瓊浦高校の1年生として学び進めていきます。渡川校長からの入学許可の後、普通科龍馬コースA組の浅野葵さんが新入生を代表して宣誓し、第74回生は瓊浦生としての第一歩を踏み出しました。

世の中が大変な時期ですが、引き締まった素晴らしい入学式になりました。これから3年間、様々な行事を通して仲間意識を高め、勉強や部活動に精励し、瓊浦高校をますます盛り上げて行ってくれることを大いに期待しています。



令和2年度 新体制

1学年主任：中別府

普1 A（松原・埴生）
普1 B（玉島・松本）
普1 C（宮崎慎・菊川）
普1 D（山川・米井）
情1 A（大野・中別府）
機1 A（小野・草野）
機1 B（橋本・草野）
機1 C（本田・山口敦）

2学年主任：阿部

普2 A（正木・前田）
普2 B（小森・前田）
普2 C（詫間・田端）
普2 D（末岡・田端）
情2 A（本馬・阿部）
情2 B（坂口・阿部）
機2 A（黒川・岩原）
機2 B（福島・堤）
機2 C（森高・堤）

3学年主任：加来

普3 A（合馬・荒木康）
普3 B（貝田・中上）
普3 C（田中天・加来）
普3 D（宮崎東・加来）
情3 A（足立・岡田）
情3 B（古賀・岡田）
機3 A（森・荒木康）
機3 B（谷口智・野口）
機3 C（東・林貴）

欧州遠征を終えて

昨年度の全日本ジュニアバドミントン選手権大会の男子ダブルスで見事優勝し、U19日本代表となった永渕雄大君（普3D）と町田脩太君（普3D）。2/22～3/10の18日間、まだ新型コロナウイルス禍に見舞われていない頃のドイツ・オランダまで遠征に行ってきました。その体験を2人に話してもらいました。



Q1.遠征はどのような結果でしたか？

永渕・町田：オランダの大会はダブルスがベスト16、ミックスダブルスがベスト32。ドイツではダブルスがベスト32、ミックスダブルスがベスト16でした。

Q2.参加してみてどうでしたか？

永渕：海外の選手は体がしっかりしていて、ショットの安定性が全く違いました。この経験は糧になります。

町田：海外のトッププレイヤーは球の質が違いました。決めるところと守るところの区別がはっきりしていました。自分たちの発想にはない球も打ってきました。体育館の雰囲気も日本と違い、調節が難しかったです。

Q3.海外に行って、日本との違いに驚くことはありましたか？

永渕：食文化が違うので、生活面から慣れるのに苦労しました。

町田：海外の人は感情が顔に出やすく、またそのコミュニケーション能力の高さに驚きました。

Q4.今回の経験を、今後どのように生かしていきたいですか？

永渕：国内の大会や世界ジュニアに向けて、海外への遠征をたくさん行い、結果を残せるように頑張りたいです。しっかり体作りをして、海外の選手のような大きな体に近づきます！

町田：今回、課題が沢山見つかりました。それを日頃の練習から意識して取り組み、ひとつずつクリアしていきたいです。そうしていくことで、次の国際大会では海外の選手の球にも反応して勝負できるはずです。これからまた頑張っていきたいと思います。

2人のこれからの活躍に期待です！

1年生 集団訓練

1年生は、4月15日（水）、16日（木）の2日間、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった宿泊体験学習の代わりに、校内においてオリエンテーション・集団行動を行いました。また、密を避けるために全8クラスを2つのグループに分けて行いました。

オリエンテーションでは、校長先生からの訓話をはじめ、各担当の先生からの進路や生徒指導についての話などを聞き、学校生活に必要なことを学びました。

集団行動では、集会での整列の仕方、点呼の仕方など集団の中でスムーズに生活できるよう基本的なことを学びました。

感染症対策のために仕方ないことですが、宿泊体験学習が中止となり、1年生はとても残念だったと思います。そんな中でも真剣に、それでいて明るく校内学習に取り組む姿を見て、良いスタートが切れたと感じました。校長先生の訓話の中にあった「瓊浦の道を正解にする」という言葉を胸に、これからの学校生活で大いに活躍してくれることでしょう。



【緊急事態宣言にかかる休業中の学校対応について】

本校は4/22（水）から、県の方針にならい臨時休業の措置をとっております。学校の再開は5/7（木）より予定されています。しかしながら、状況は日々変化しており、長崎のどこで集団感染が発生してもおかしくありません。今後のことについては、Classiやホームページで連絡を行いますので、こまめな確認をお願いいたします。

長崎の今後のみならず、日本のこれからを大きく左右する長期休暇が始まります。新聞・テレビ等で再三言われているとおり、不要不急の外出を控えるなど、一人ひとりが事態の収束に向けて節度ある行動をとることが求められています。ご家族の方も含め、万一感染した場合は必ず学校へご連絡ください。健康な身体があってはじめて、平穏な日常生活が訪れます。瓊浦ファミリーの皆さんの無事を切に願います。そして、全員が元気な顔で再会できる日を心待ちにしています。

《 主な行事・5月 》 ※状況に応じ、変更の予定あり

8日（金）	中間考査時間割発表
12日（火）	尿検査（～13日）
15日（金）	中間考査（～16日）
19日（火）	薬物講話
25日（月）	高総体特別時間割（～5日）
29日（金）	第1回実用英語技能検定（一次）

※16日に予定されていたPTA総会は、書面により決議を行う書面総会となります。

新任紹介

今年度の新任の先生2名をご紹介します。

なかがみ ごう
中上 剛 先生



- ①担当教科：英語
- ②趣味：筋トレ
- ③特技：美味しい店を見つけること
- ④瓊浦生の印象：レモンやライムのような柑橘系のイメージ＝眠い時にかじったら目が覚めそう
- ⑤一言：外国語の勉強は道具として使えるようになれば楽しいということを授業の中で伝えたい。一緒に学びましょう。

のぐち ともり
野口 智徳 先生



- ①担当教科：数学
- ②趣味：ランニング（11月末にある、長崎市初となるフルマラソンに出場予定）
- ③特技：ルービックキューブ（色々持っています）
- ④瓊浦生の印象：挨拶のできる元気な生徒！その元気に負けないように頑張ります。
- ⑤一言：数学のことなら何でも聞いてください。必ず力になります。これからよろしくお願いします。